

牛群検定通信 No86

～新しい検定情報（推定体重等）が表示されます～

6月から表示される新しい検定情報は、推定体重、推定乾物摂取量、推定飼料効率等になります。今回から順次紹介していきます。まずは推定体重です。

1 体重とは？

牛群検定では、体重計または、胸囲から体重を推定する体重推定尺を用いて報告することとなっています。しかし、近年多頭化が進み、個々に体重を測定できない現状にあります。しかし、体重は今も昔も変わらずに重要な検定項目です。牛の食べる飼料の量（乾物摂取量）は、泌乳量と体重等で決定するからです。本来、体重がわからなければ正確な飼料設計を行うことはできません。

2 推定体重とは？

前述のとおり体重を測定できない場合、農家でも飼料会社の方でも飼料設計を行う際は、経験と勘による目測で体重を判定していることが多いようです。そこで、牛群検定において検定成績を利用して推定したものが推定体重です。検定成績としては、産次、年齢、分娩後日数、ボディコンディションスコア、乳量、乳成分、濃厚飼料給与量、血統などから推定しています。検定成績表の体重の欄に、細い一回り小さい文字で表記されているものが推定体重です。太いしっかりした字体で表記されているものは従来から表記されているもので体重計または推定尺による体重になります。

注意点としまして、ボディコンディションスコアの測定が必須であることがあげられます。ボディコンディションは、見本写真をパンフ、ポスターやホームページなどにより当団から配布していますので、これを機会に是非報告するようにしてください。

3 推定体重の活用

推定体重は、体重推定尺の誤差と大きく変わりませんが、大きな牛の体重が軽めに推定されてしまうことがあります。大きな牛は沢山食べて泌乳量も沢山出ると言われていますが、大きな牛であってもそれに見合った泌乳量を搾れていない場合に、軽めの体重に推定してしまう傾向があります。こういった牛は飼料効率の悪い牛であることが多いようです。原因は、周産期病や遺伝的なものなどいろいろと考えられますので、改善を図るひとつの目安となります。

4 体重測定

軽めの体重が改善の目安になるとは言え、体重の誤差であることに違いはありません。前述のような時は、一乳期に一度、実際に体重を測定するようにしてください。推定体重を計算するシステムでは、実際に体重が測定された場合は、その測定された体重を基準にして計算されるようになっていきます。仮にその後体重測定が行われなくとも、大幅に誤差が改善されます。

このように、推定体重は、これまでの体重測定を否定するものではありません。むしろ、これまでの体重測定を補完するのが推定体重であるともいうことができます。